



「つばめ輝く女性」表彰

「つばめ輝く女性表彰2020」を受賞した松田直子さん(右から2人目)、桜井の里福社会の関係者ら＝燕市役所

女性が活躍しやすい環境づくりに向けた燕市の「つばめ輝く女性表彰2020」の表彰式が、市役所で行われた。県央地域で唯一の手話通訳士として活躍する松田直子さん(60)に「女性賞」が、社会福祉法人桜井の里福社会に「女性応援賞」がそれぞれ贈られた。

同市は2016年度から、身近なモデルとなる女性個人や、女性の活躍を応援する事業者、団体を表彰しており、今回で5回目。

松田さんは1994年から「吉田手話サークルふれあい」の会長を務め、幅広い世代に手話の楽しさを伝えるとともに、聴覚障害者理解の啓発や、次世代の手話通訳者育成にも取り組んでいる。

桜井の里福社会は弥彦村に本部を置き、運営する45事業所のうち、26事業所が同市にある。職員の働き方改革を行

う「職場風土向上委員会」を設置し、年休取得率の向上や超過勤務削減などに組織を挙げて取り組んでいる。女性職員が7割以上を占める中、結婚・出産などのライフスタイルに合わせてながら長く働き続けることができるよう、多様な制度を整えている。2017年には女性活躍推進企業を認定する厚生労働省の「えるぼし認定」も受けている。

16日の表彰式で、鈴木力市長は受賞者に表彰状と記念品を手渡し、「今後もそれぞれの分野でご活躍を」とお祝いの言葉を述べた。

松田さんは「受賞をきっかけに、手話という言語に関心を持つ人が増えてくれたらうれしい」と話していた。

表彰式の様子は24日にオンライン形式で開かれる「つばめ・やひこ女性活躍推進フォーラム2020」で配信される。

松田直子さん

手話の楽しさを広める

桜井の里福社会

働きやすい環境づくり